

辻井タカ子後援会だより

2005年
1月

日本共産党
東海市議員



辻井タカ子

辻井タカ子のホームページアドレス
<http://www.t-takako.jp>

発行者：日本共産党富木島後援会
連絡先：堀本：604-5820
：辻井：604-7914

第88号

新年おめでとうございます

辻井タカ子後援会長：大島 和海

明

けましておめでとうございます。

いつも後援会の活動にご協力いただきありがとうございます。

昨年11月に「世界が100人の村だったら」の著者である池田香代子氏の講演を聞く機会がありました。

戦争の絶えないこの地球上に平和を実現するためには、現憲法の平和主義が今こそ必要になっている。

憲法を守ろうとする私たち一人一人は微力ではあるが、無力ではなく、まとまれば大きな力になると訴えていました。

このことを忘れないようにして、今年も皆様とともに歩んで行きたいと思っています。

私はひばいです



今年は私の年です。
安心できる環境を整えてくださいね。



望年会の報告

12月18日、恒例になった富木島後援会の望年会をおこないました。

いつもの顔、新しい顔...後援会の輪が少しずつ広がっているようです。

今回はいつもの手品、詩吟に加えハーモニカ、日本舞踊なども披露していただき、又、ビンゴゲームはいつもにも増して目が輝いていましたね。

会員さんから提案があった“戦争体験を語る”会は憲法9条が危険な今、ぜひ実現していきたいと思いました。



舞台「いきがい」の報告

12月12日に知多市で行われた舞台「いきがい」は午前、午後あわせて1,100名ほどの参加がありました。長い時間でしたが、平和の大切さを若い人に語りかけていく主人公の熱演にあちこちですすり泣きが聞こえてきました。

望年会で、後援会の世話人になっていただけた方が名乗りをあげていただきました。さっそく、今年の予定などを考えていきたいと思えます。今年もよろしくお願いたします。H

後

援会のみなさん、あけましておめでとうございます。お正月はいかがお過ごしでしょうか。

私は、スマトラ島沖の巨大地震と大津波の被害状況が心配で、正月気分ではありませんでした。今年は災害の少ない年であるようお願いしています。

昨年末、後援会の望年会参加者の方から、「戦争体験を語る機会を」との提案がありました。憲法九条改悪の動きもあり、平和について考える機会にもなり、終戦六十周年の今年、ぜひ実現したいと思っています。

みなさん、今年と来年にかけて七兆円もの負担が増えます。年金保険料の引き上げ、配偶者特別控除の廃止、消費税の免税点の引き上げなどは実施が決まり、定率減税の縮小・廃止、介護保険料・利用料の値上げなどが次々と計画されています。「二大政党」に任せておいたら大変です。

こうした悪政に対抗するためにも、日本共産党を大きくして、くらしや平和を守りたいと思います。

十二月議会で「小学校入学前までの通院医療費無料化」が四月実施に向けて条例改正がされました。これで子育て世代が安心して子育てできる環境が拡充されます。

今年もみなさんと力を合わせて頑張ります。引き続きの支援をよろしくお願いいたします。